

平成27年度
高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演
オペラ「蝶々夫人」のご案内

新国立劇場（東京・初台）は、次の世代を担う青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供するため、平成10年度より毎年「高校生のためのオペラ鑑賞教室」を開催しています。新国立劇場の通常のオペラ公演と全く同じ舞台を、低価格で高校生に鑑賞していただくこの事業には例年1万人に及ぶ高校生が参加しており、マイクを使わない生の歌声、オーケストラの演奏、豪華な舞台セットと、最高水準のオペラの迫力に若々しい感動の音が寄せられています。

平成20年度からは、尼崎市総合文化センター アルカイクホールの協力のもと、関西公演が開始され、多くの関西の高校生が当公演にてオペラデビューを果たしています。

平成27年度はプッチーニ作曲のオペラ「蝶々夫人」を上演いたします。アリア「ある晴れた日に」で知られるイタリア・オペラの代表作であり、明治時代の長崎が舞台になっているため日本人には特に馴染み深い人気オペラ「蝶々夫人」。公演を重ねるたびに劇場が感動の渦に包まれる、新国立劇場ならではの強いメッセージを持った舞台です。

つきましては、貴校におかれましても学校の鑑賞行事として、またクラブ活動の一環として、オペラ鑑賞教室へのご参加をご検討いただき、別紙の申込書をFAXにてご返送いただけますと幸甚に存じます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- <同封資料>
1. H27年度高校生のためのオペラ鑑賞教室「蝶々夫人」 公演概要・募集要項
 2. オペラ鑑賞教室おすすめポイント、あましんアルカイクホール案内
 3. 申込用紙（FAXにてご返信ください。）
 4. オペラ「蝶々夫人」公演チラシ

<お申し込み、お問い合わせ>

新国立劇場 営業部 オペラ鑑賞教室係 内田徹、高梨木綿子

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1

TEL：03-5352-5745

FAX：03-5352-5744

平成27年度 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演 オペラ「蝶々夫人」公演概要・募集要項

演目 オペラ「蝶々夫人」 (作曲：ジャコモ・プッチーニ)
【全2幕 イタリア語上演】 (新国立劇場 平成12年12月初演)

会場 尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール
(座席数 1702 席 別途車椅子席あり)
兵庫県尼崎市昭和通 2-7-16 阪神尼崎駅より徒歩 5 分

日程 平成27年10月27日(火) 13:00 / 28日(水) 13:00
予定上演時間：約2時間45分(休憩1回あり)

料金 高校生および引率の先生 ひとり2,160円(消費税8%税込※)
プログラム付き、介助が必要な方については、付添者一人は無料となります。
※消費税率の変更に伴い、2015(平成27)年10月1日以降、料金が変更になる場合があります。

出演者 未定(決まり次第HPでお知らせいたします。)

主催 尼崎市／公益財団法人 尼崎市総合文化センター／公益財団法人 新国立劇場運営財団
助成 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛 ローム株式会社
協力 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部

お申込み方法

別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、平成26年10月31日(金)必着でFAXにてお申込みください。
なお、ご希望校多数の場合は抽選にて決定の上、結果を平成26年11月中旬にお知らせいたします。

オペラ鑑賞教室・関西公演、ここがオススメ！！

1) 本物に触れる感動を！

次世代を担う多くの若者たちに、正真正銘の「本物のオペラ」に触れる機会を提供します。しかも今回はイタリア・オペラの名作「蝶々夫人」を上演。劇場を訪れたその瞬間から、通常公演同様に、高校生の皆様を一人のお客様として対応させていただくことにより、劇場でオペラを観ることの素晴らしさを体験していただくことはいうまでもなく、ひとりの観客として、芸術を鑑賞するエチケットやマナーを涵養いたします。

2) フルオーケストラによる全曲演奏！

鑑賞教室と銘打ってはおりますが、公演そのものは新国立劇場の通常の公演と全く同じ内容となります。テープもマイクも使用せず、フルオーケストラによる全曲演奏で、オペラ歌手の生の歌声をご堪能いただきます。本物の音楽の奏でる繊細さや力強さ、舞台上に展開する劇的興奮など、オペラという芸術の持つ魅力を存分に味わうことができます。

3) 特別価格にてご提供！

音楽・演劇・文学・美術が一体となった総合芸術の最高峰といわれるオペラは、莫大な費用がかかるため、ミュージカルや演劇などと違い、本格的な上演の機会が少ないのが現状です。しかしこの鑑賞教室では、多くの次世代を担う若者が本物に触れる機会となるように、趣旨にご賛同いただいた企業のご支援により、この公演のみ「高校生 2,160円」という特別価格にて提供します（内容は一般向け公演と全く同じです。「蝶々夫人」の通常公演（2014年公演）は一般S席21,000円）。他所ではこの価格でオペラを観ることはできません。ぜひこの機会をご利用ください。

新国立劇場について

新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のための日本で唯一の国立劇場として、1997年に開場しました。現実世界から夢の世界へいざなうような豪華な建物とともに、上演する公演の高いクオリティーが、日本国内のみならずいまや国際的にも注目される劇場となっております。毎年秋にスタートするシーズン公演は海外の主要劇場で活躍する出演者やスタッフに国内の一流アーティストが加わり、話題作品が次々と発信されています。新国立劇場の主催公演は、国内での評価はもちろん、海外の劇場との舞台美術や人材の交流を重ね海外メディアで紹介されるなど、世界最高レベルの劇場と並ぶ評価を受けています。



新国立劇場外観



オペラ劇場客席

尼崎市総合文化センターの紹介

尼崎市総合文化センターは、大・中・小の3つのホール、美術ホール、カルチャースクール、練習室など、観る、演じる、創る、学ぶなど、文化を楽しむための施設が揃っており、尼崎市の文化発信の拠点として多くの来場者が訪れています。関西各地からのアクセスも良く、梅田、難波、西宮、芦屋、神戸、奈良から乗り換えなしでご来場いただけます。

特に昭和57年に開館した大ホール（あましんアルカイックホール）では、その舞台機構と音響の良さを生かして、関西二期会をはじめとするオペラ団体の定期公演や小澤征爾プロデュースオペラシリーズ、創作市民オペラなど、今までに数多くのオペラ公演を実施しており、「オペラのアルカイック」として関西のオペラファンに親しまれてきました。

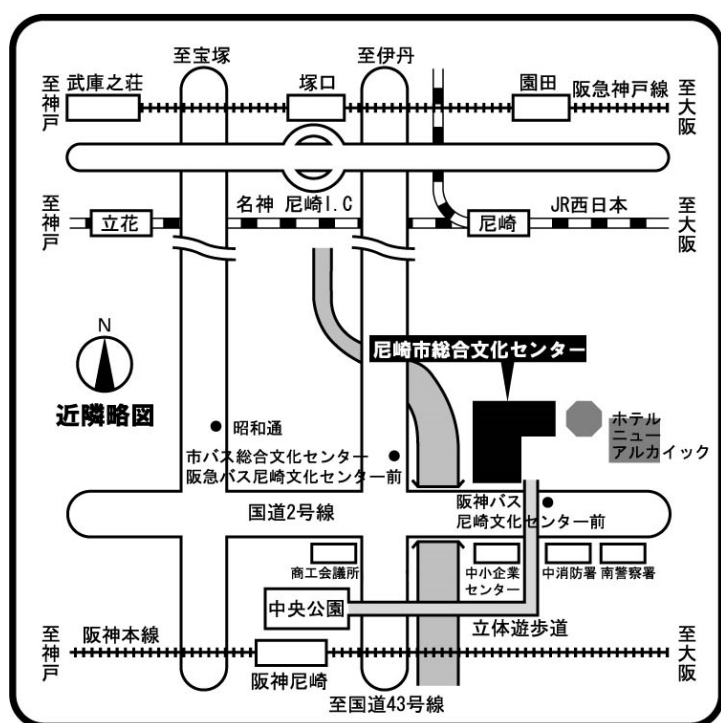
平成20年度より新国立劇場の「高校生のためのオペラ鑑賞教室」も新たに加わり、次世代を担う青少年から大人まで幅広くオペラが楽しめるホールとして更なる進化を遂げております。



尼崎市総合文化センター 全景



あましんアルカイックホール



阪神電車で、梅田から7分、
大阪難波から20分、三宮から22分
阪神尼崎駅下車 立体遊歩道で徒歩約5分
(国道2号線玉江橋交差点すぐ)

施設に関するお問い合わせ先

尼崎市総合文化センター 総合受付

TEL 06 (6487) 0800

午前9時から午後7時まで
(年末年始、その他の休館日を除く)